

ユニフォーム規定に関する補足説明資料

(一社) 横浜サッカー協会 4種委員会

2017. 03. 04

競技規則	ルール (大会要項)	Category			備考 (補足説明)
		U8	U10	U12	
第4条 競技者の用具	アンダーショーツおよびタイツはショーツの主たる色、またはショーツの裾と同じ色である事。	全Categoryで競技規則に従った運用とする。			●アンダーシャツを着用する場合、チーム内で色を統一する事。
	アンダーシャツは、シャツの袖の主たる色と同じである事。	全Categoryで競技規則に従った運用とする。			●アンダーシャツを着用する場合、チーム内で色を統一する事。 ●着用する選手、半袖の選手が混在するのは問題なし。
	ヘッドカバーを着用する場合、黒またはシャツの主たる色と同じでなければならない。	全Categoryで競技規則に従った運用とする。			●ヘッドカバーを着用する場合、チーム内で色を統一する事。
JFAユニフォーム規程および県協会ユニフォームの取扱い事項	【FPのケース】 試合会場に正・副2組のユニフォームを持参する事。ユニフォームとは「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の組合せの事である。	全Categoryでユニフォーム規程および大会要綱に従った運用とする。			●対戦チームとユニフォームの色彩が類似した場合、主審の判断に従って着用するユニフォームを変更する。 ●ユニフォームを変更する場合、「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の組合せで変更する。
	【GKのケース】 試合会場に正・副2組のユニフォームを持参する事。ユニフォームとは「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の組合せの事である。	全Categoryでユニフォーム規程および大会要綱に従った運用とする。			●対戦チームとユニフォームの色彩が類似した場合、主審の判断に従って着用するユニフォームを変更する。 ●ユニフォームを変更する場合、「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の組合せで変更する。
	GKの正と副のユニフォームの「ショーツ」、「ソックス」を同じ色にする事は認められない。	全Category共通の運用とする。			●JFAのユニフォーム規程に則り、「シャツ」「ショーツ」「ソックス」の組合せで異なる色彩で正と副のユニフォームを準備する。
	ユニフォームへの表示として、シャツの前面および背面には選手番号を表示しなければならない。	任意とする。			●既存のユニフォームに表示していないケースが多く、財政的な面の負担軽減のため。
	試合前に提出する「メンバー用紙」に記載する場合、「1選手、1選手番号」とする。	U8およびU10は横浜サッカー協会主催のため、「メンバー用紙」提出時に「/」で「1選手、2選手番号」を認める。	U12リーグ戦は県協会主催の大会であるため、県協会およびユニフォーム規程に従った運用とする。		●U12リーグ戦において同一選手がFPおよびGKの両方をメンバーとして登録する場合、同じ選手番号としてFP用、GK用ユニフォームを準備する。
大会要綱 (補足)	試合を決定するペナルティーマークからのキックの際、FPとGKを交代するケースがありますが、PK戦に限り、FPと識別できるようにシャツのみ着替える事とする。	決勝トーナメントは横浜サッカー協会主催の大会のため、ローカルルールとして全Category共通の運用とする。			●試合を決定するペナルティーマークからのキックの際、FPとGKを交代するケースがありますが、ユニフォーム全てを交換するには時間を要するため。
	FPとGKのユニフォームの組合せとして、FPの正のショーツ、ソックスをGKの副とし、FPの副のショーツ、ソックスをGKの正として組合せる事は認められない。	全Category共通の運用とする。			●相手チームとの色彩を区別するためにユニフォームを入替える場合、必ずしもFPとGKが正または副になるとは限らないので、FPとGKのユニフォームの色彩は重複しないようにする。